

第八回 酒都で聴く女流義太夫の会

女流義太夫 人間国宝

竹本駒之助を聴く

「蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れの段」

あしやどうまんおおうちかがみ

太夫 竹本駒之助

三味線 鶴澤津賀花



義太夫節の世界で、現在男女を超えて最高峰の一人とされる、人間国宝・竹本駒之助師。造り酒屋で、その真骨頂ともいえる語り芸に間近に触れる、女流義太夫の会。

2024年6月8日(土)

白鷹緑水苑 2階宮水ホール
14:30開場 15:00開演

■一般 前売り 5,000円 (当日5,400円)

■アカデミー会員 前売り 4,600円 (当日5,000円)

■全席指定(約90席)

■蔵出し限定酒などのワンドリンク付

★お申し込みについては裏面をご覧ください。

お問い合わせ

白鷹緑水苑

TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236

E-mail: rokusuien@hakutaka.jp

URL:https://hakutaka.jp/shop.html

灘の造り酒屋で聴く女流義太夫

江戸時代中期に生まれた女流義太夫は、歌舞伎や人形浄瑠璃文楽で演奏される義太夫節に対し、役者や人形を伴わない、語りと三味線のみによる「素浄瑠璃」という形で芸が継承されました。その語りに磨きをかけ、声量の豊かさ、すぐれた人物描写など、現在、男女を超えて最高峰の一人と称されるのが竹本駒之助師です。その至芸にふれる、第八回 酒都で聴く女流義太夫の会で取り上げるのは、親子の情愛が切々と胸に迫る「蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れの段」です。

「蘆屋道満大内鑑」は、平安時代に活躍した陰陽師・安倍清明が、父保名と信田の森の白狐の間に生まれたという有名な「信田妻伝説」に取材した時代物です。安倍保名に命を救われた白狐が葛の葉姫に姿を変えて保名に添い、子をもうけて幸せに暮らすも、本物の葛の葉姫の登場により、子を残して一人信田の森へ去るといふ悲しい顛末を描いた「葛の葉子別れの段」。別れが来たことを悟った葛の葉が、寝入った子どもに語りかける血を吐くばかりの述懐が涙を誘います。まさに「情」を語るにおいて、駒之助師の真骨頂ともいえる名場面をごく間近でご堪能いただけます。

女流義太夫ともゆかりの深い関西の地にある西宮の造り酒屋から、そのさらなる魅力を発信すべくおとどけする「酒都で聴く女流義太夫の会」。銘酒と名人の至芸が誘う酔い心地を心行くまでお楽しみください。

「蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れの段」 あらすじ

陰陽師の安倍保名が妻葛の葉と我が子の三人で仲むつまじく暮らす阿倍野の家に、保名の留守中、信田庄司夫婦が娘の葛の葉姫を連れて訪ねてきたことにより、葛の葉が二人いるという、不思議な出来事が明らかになる。帰宅した保名も、二人葛の葉の怪異に六年連れ添った女房に疑念を抱き、一間に忍びそつと様子を探る。本物の葛の葉の登場に、別れが来たことを悟った葛の葉は、我が子を抱き、涙ながらに身の上を語る。様子を聞いた保名が駆け出ると、葛の葉は、「恋しくば尋ね来てみよ和泉なる信田の森のうらみ葛の葉」の一首を残し、姿を消す。

竹本駒之助

1935年兵庫県淡路島生まれ。1949年大阪にて竹本春駒に入門。文楽の諸師匠方に師事。1970年4代竹本越路太夫の女性唯一の門人となる。1996年モリビル音楽賞受賞。1999年重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」個人指定保持者（人間国宝）認定。2003年紫綬褒章受賞。2008年旭日小綬章受賞。2012年神奈川県文化賞受賞。2015年文化庁芸術祭大賞受賞。

鶴澤津賀花

1972年福井県出身。1998年竹本駒之助に入門。2001年国立演芸場にて初舞台。2006年文化庁新進芸術家国内研修生。三味線を六代鶴澤燕三に師事。2009年日本伝統文化振興財団邦楽技能者オーディション合格。2011年清栄会奨励賞受賞。2017年松尾芸能賞新人賞受賞。

お座席指定について

座席数僅少のため、左記の点にご留意しご理解賜りますようお願い申し上げます。

- *お申込み受付後、ご入金順に前列中央から、左右両側へ順番にお席を指定させていただきます。
- *個別のお座席指定及びお申込み時のお座席確認にはご対応できませんのでご了承ください。
- *お申込み後、当方よりお席確保の連絡をさせていただきますので、その後にお支払いをお願いいたします。

蔵出し限定酒 ショップ 美禄市 11:00~19:00	
蔵出し一献 日本酒酒房	蔵BAR 12:00~17:00 (土日祝のみ営業)
旧き良き 暮らしの美	暮らしの展示室 11:00~18:30 見学無料
伝承の灘酒 その技法	白鷹集古館 11:00~18:30 見学無料
イベントホール レンタルスペース	宮水ホール 茶室 悦庵
鰻料理 懐石料理	東京 竹葉亭 西宮店 11:30~14:30 (土日祝11:00~15:00) 17:00~21:00 TEL:0798-37-3939



白鷹緑水苑
灘酒文化の発信地
[本物主義]昔も今も、これからも。
<https://hakutaka.jp/shop.html>

白鷹緑水苑 (11:00~19:00 1・3水曜定休)
ご予約・お問い合わせ Tel. 0798-39-0235 Fax. 0798-39-0236

前売チケットは白鷹緑水苑にて販売中。申込み用紙にてFAXあるいは郵送で、またはHPよりご予約いただいた後、お申込み受付時(当方よりご連絡させていただいた日)から数えて二週間以内に下記口座へお振込ください。振込確認後にチケットを郵送させていただきます。*銀行営業日、振り込み反映日にご注意ください。

三菱UFJ銀行 西宮支店 普通 4608446 ニシノミヤハツイマデントウ

*恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただけます。*お振込先が白鷹緑水苑ではございませんので、ご注意ください。
*前売券発売の場合、当日券の発売は中止とさせていただきます。*ご購入後のご返金はいたしかねます。
*公演中止の場合、チケット代金は返金させていただきます。尚、お振込み手数料のご返金はご容赦願っております。

当イベントの詳細・インターネットでのお申込みはこちら



- 主催:「西宮発・今、伝統芸能」実行委員会
- 協力:白鷹緑水苑
- 協賛:辰馬企業株式会社・白鷹株式会社

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236
E-mail: rokusuien@hakutaka.jp



「第八回酒都で聴く女流義太夫の会 竹本駒之助を聴く」FAXお申し込み用紙 Fax. 0798-39-0236

氏名	ふりがな	電話
住所	〒	
メール	(P.Cあるいはスマートフォン)	FAX

公演前売り券 一般 () 枚 アカデミー会員 () 枚